

中野支店が10月19日にオープン

中野支店は建て替え工事が完了し、10月19日に新店舗がオープンしました。(鉄骨2階建て、延べ約640平方メートル)

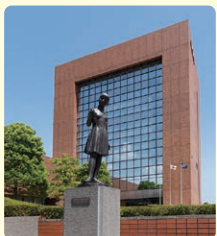


住所：中野市中央1丁目6-15 電話：0269-22-4151

長野信用金庫の概要

(2020年9月30日現在)

創 立：1923(大正12)年9月1日
本店所在地：〒380-8686
長野県長野市居町133番地1
店 舗 数：38本支店
店舗外ATM23ヵ所
常勤役員数：605名
会 員 数：61,351名



本店・本部

インターネットホームページ：<http://www.nagano-shinkin.jp/>

当パンフレットのお問い合わせ先：

長野信用金庫 総合企画部 電話：026-228-0221(代表)

本誌に記載の比率および金額は原則として単位未満を切り捨てて表示しています。



2020年度上半期トピックス

新型コロナウイルス感染症拡大への取り組み

しんきんは、新型コロナウイルスの影響を受けている事業者を支援するため、さまざまな支援策を講じ、対応しています。

事業者向け個別相談会「^{ようす}万相談会」(毎週金曜日開催中)

国の雇用調整助成金、給付金および補助金等の公的支援策の活用とテレワークなどをテーマに、県よろず支援拠点担当者と連携して個別の「万相談会」を開催し、延べ121件の相談に応じました。



国の持続化補助金活用セミナー

販路開拓、生産性向上および新たな事業展開を検討中の小規模事業者を対象に、「持続化補助金(コロナ特別対応型)活用セミナー」を9月に開催しました。県よろず支援拠点と連携し、事業計画や申請書作成などを解説しました。



電子商取引(EC) サイト講座 (8月～9月に全3回)

県よろず支援拠点コーディネーターを講師に、ECサイト導入希望者、既存ECサイトの見直し希望者を対象に開催し、ECサイトの作り方や宣伝方法、顧客データ分析方法等について講演しました。

知的財産普及

しんきんは、知的財産の有効活用による地域経済の活性化に取り組んでいます。

地域デザイナー発掘プロジェクト

当プロジェクトの第1弾として、2021年5月12日にビッグハットで開催予定の「第18回長野しんきんビジネスフェア2021」の「ポスターデザインコンテスト」を開催し、56点の応募がありました。

創業支援

しんみせチャレンジ2020

これから創業する方や創業直後の方のサポートを目的に、2018年4月にスタートさせた「しんみせ」応援プロジェクトは3年目を迎えました。2020年も4月から「書類選考」「創業カレッジ」「プレゼンテーション」等のプログラムを通じて、地域の官・民・金の連携により創業者のみなさまをサポートしています。また最終選考合格者には「スタートアップ応援金30万円」を交付します。「しんみせ」とは：「新しくできたお店」という意味に、「老舗になるまで寄り添って歩みたい」というしんきんの想いが込められています。

創業カレッジ

「しんみせチャレンジ2020」への参加者を中心に、「創業カレッジ」を6月から9月まで開講しました。マーケティングや財務管理など経営に関わる基礎知識(22科目31講座)や、善光寺周辺の空き物件・リノベーション済み物件を巡るなど、店舗の再生活用を学びました。

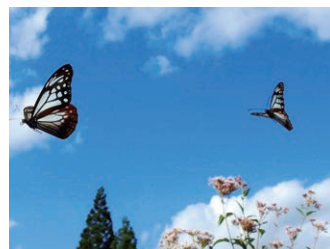


長野しんきんニューリーダーゼミナール

ウィズコロナ時代の次世代経営者育成を目的として、当ゼミナールを9月に開講、若手経営者33人が参加しました。新たなビジネスモデルの柱を構築する経営感覚を高めるため、株式会社タナベ経営のコンサルタントを講師に2021年3月まで6回にわたってセミナーを開きます。

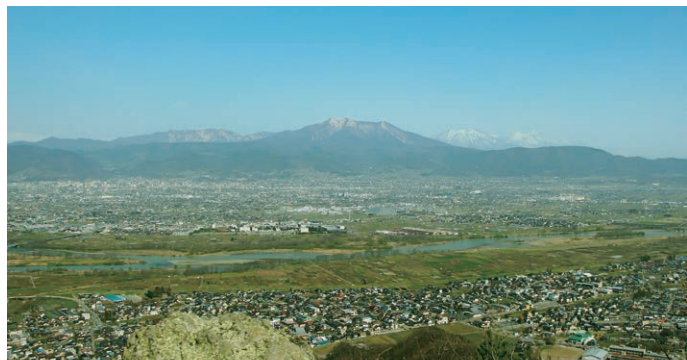
知財サポートサービス

独立行政法人工業所有権情報・研修館(INPIT)長野県知財総合支援窓口と包括連携協定を締結、9月1日から連携事業「知財サポートサービス」の取り扱いを開始しました。しんきんが受付窓口となってINPITと協働し、取引先の知的財産に関する課題解決・事業基盤拡大をサポートします。



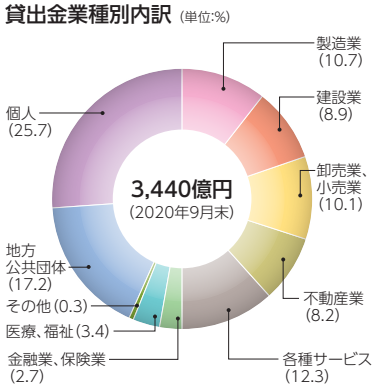
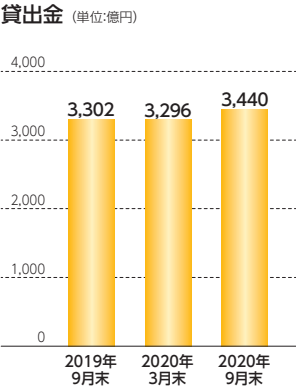
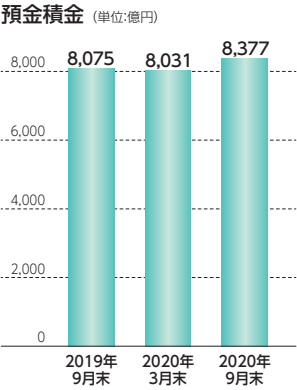
しんきん 2020 上半期レポート

2020年度上半期のご報告
(2020年4月1日～2020年9月30日)



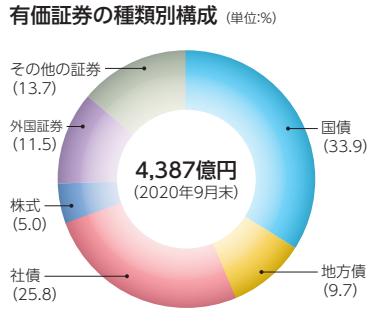
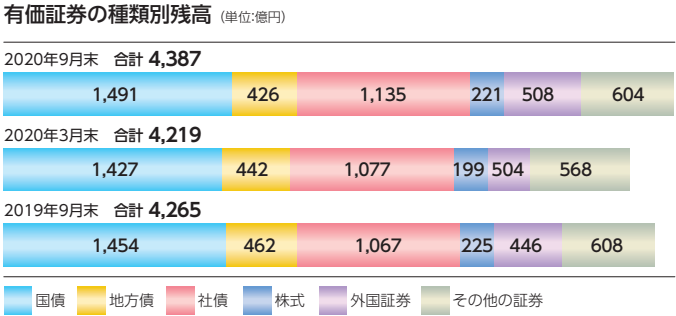
預金積金と貸出金

2020年9月末の預金積金は、個人・法人ともに流動性預金が増加したこと
から、2020年3月末比345億49百万
円増加して8,377億48百万円となりま
した。
貸出金は、新型コロナウイルス関連
融資や住宅関連融資の増加により、
2020年3月末比144億18百万円増加
して3,440億54百万円となりました。



有価証券

みなさまからお預かりした大切な預
金積金は、貸出金のほかに国債・社債等
の有価証券でも運用しています。当金
庫は運用にあたり、安全性を重視した
方針を堅持しています。
2020年9月末の有価証券は、2020
年3月末比168億6百万円増加して
4,387億96百万円となりました。



有価証券の時価情報

2020年3月末		2020年9月末	
貸借対照表計上額	当事業年度の損益に含まれた評価差額	貸借対照表計上額	当事業年度の損益に含まれた評価差額
37	△0	—	—

2020年3月末				2020年9月末		
	貸借対照表計上額	時価	差額	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	7,118	7,214	96	6,992	7,086	94
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	—	—	—	—	—	—
合計	7,118	7,214	96	6,992	7,086	94

(注) 時価は、決算日における市場価格等に基づいております。

売買目的有価証券: 時価の変動により利益を得ることを目的とし、短期間保有する有価証券です。
満期保有目的の債券: 社債などのように満期まで長期保有する債券です(株式は含みません)。一定の期
間ごとの利息を得ることを目的に保有し、満期に額面で償還される債券です。
その他有価証券: 上記2つおよび「子会社・関連会社株式」に分類できない有価証券です。

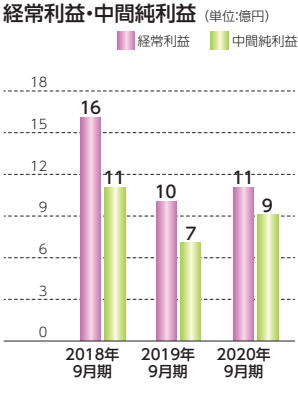
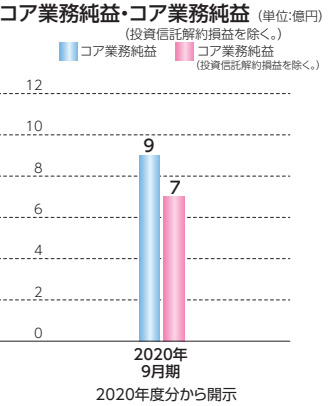
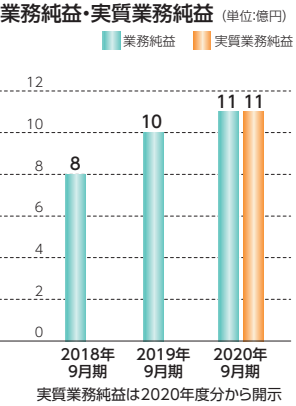
	種類	2020年3月末			2020年9月末		
		貸借対照表計上額	取得原価	差額	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	14,301	9,393	4,907	16,160	9,698	6,462
	債券	262,427	251,342	11,084	264,241	253,697	10,544
	その他	87,284	77,890	9,394	98,614	88,490	10,124
	小計	364,013	338,626	25,386	379,017	351,885	27,131
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	5,452	6,868	△1,416	5,800	7,036	△1,236
	債券	25,254	25,551	△297	34,141	34,540	△399
	その他	19,994	21,777	△1,783	12,689	13,491	△802
	小計	50,701	54,198	△3,496	52,630	55,068	△2,437
合計		414,714	392,824	21,889	431,647	406,954	24,693

(注) 貸借対照表計上額は、決算日における市場価格等に基づく時価により計上したものであります。

内 容	2020年3月末	2020年9月末
	貸借対照表計上額	貸借対照表計上額
子会社株式	10	10
非上場株式	146	146

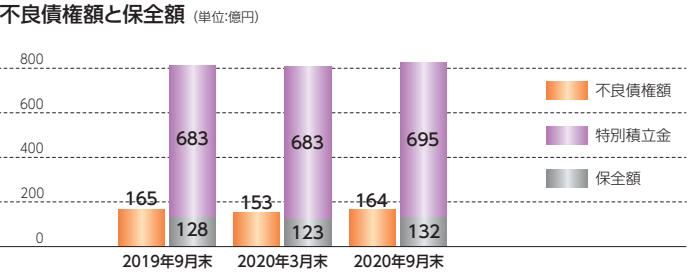
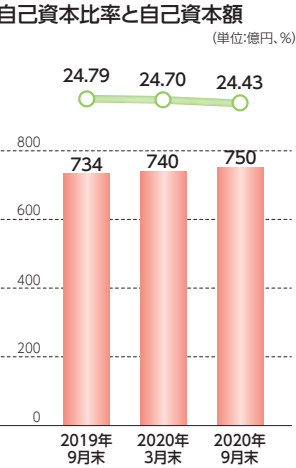
収益

マイナス金利の環境下ではありますが、
国債等債券売却益の増加や経費縮減等
により、業務純益は前年同期比29百万
円増加して11億10百万円となりました。
経常利益は与信関連費用の減少によ
り前年同期比69百万円増加し、中間純
利益は税金費用の減少により前年同
期比2億55百万円増加して9億80百万
円となりました。
なお、「実質業務純益」、本業のもうけ
を表す「コア業務純益」、「コア業務純益
(投資信託解約損益を除く。)」につつま
しでは、2020年度分から開示してい



不良債権(金融再生法開示債権)

新型コロナウイルス感染症の拡大が、地域経済にも大きく影響を
及ぼしている状況です。企業再生支援と不良債権の抑制に努めまし
たが、開示債権額は2020年3月末比11億12百万円増加して164億
40百万円となり、総与信残高に占める割合も0.13ポイント増加して
4.74%となりました。
このうち、担保や保証、貸倒引当金などにより132億12百万円が
保全されています。また、未保全額は32億28百万円になりますが、
特別積立金695億47百万円により十分にカバーされています。



区分	2020年9月末	
	残高	残高
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,136	1,126
危険債権	13,927	15,059
要管理債権	264	254
金融再生法開示債権合計	15,328	16,440
正常債権	316,602	329,937
総与信残高	331,930	346,378

自己資本の構成 (単位:百万円)		
	2020年3月末	2020年9月末
自己資本の額	74,085	75,079
	コア資本に係る基礎項目の額	75,176
	コア資本に係る調整項目の額	1,077
リスク・アセット等	299,941	307,207
	信用リスク・アセット	279,910
	オペレーショナル・リスク相当額の合計額÷8%	20,030
自己資本比率	24.70%	24.43%